

花の苑タイムズ

地域交流作品展を開催 地域連携活動の取り組みとして



新高尾公民館はがき絵の会
地域に開かれた施設を
目指す高崎花の苑では開
設以来、地域交流をキー
ワードに地域に向けて様
々な取り組みを開催して
きました。このうち、地
域の九団体による合計十
二回の作品展を行ってき
ました。

作品展は、地域住民皆
様の生涯教育や趣味など
による絵画や写真などの
創作作品の数々を、高崎
花の苑施設内に設けられ
ました。

運営推進会議での了承
を得て、一昨年末よりス
タートし、これまでに地
域の九団体による合計十
二回の作品展を行ってき
ました。



新高尾公民館はがき絵の会

平成30年3月10日発行
第42号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211
社会福祉法人健生会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

「ボランティア顕彰」

過日行われた第四十回
たかさき市民福祉大会
(詳細は次号に掲載)に
おいて、団体の部における
ボランティア顕彰で、

高崎花の苑はがき絵
の会メンバー十九名
が選ばれ、「ミニカラオ
ケ大会」の実施となりま
した。

これはH・Iユニットに
ても声を掛け、志田恭
子様や安藤昌子様も参加
されました。高橋正男様

名曲『星影のフルツ』を

拠点に活動されているは
がき絵の会メンバー十九名
の皆様による『はがき絵
作品展』を開催中です。

現在、新高尾公民館を
拠点に活動されているは
がき絵の会メンバー十九名
の皆様による『はがき絵
作品展』を開催中です。

たパブリックスペースを
活用したギャラリーコー
ナーで開催しています。

施設のご利用者や関係
者の皆様をはじめ、多く
の皆様にこれまでたくさ
んの作品を見て頂きまし
た。また上毛新聞地域版
に何度か紹介もされるな
ど、地域と施設を結ぶ交
流作品展として、地元地
域の皆様にも気軽にご観
覧いただき好評を博して
きました。

当施設が推薦したみやま
ハーモニカクラブ(広井
得二会長)が他の団体と
共に受賞し、富岡賢治高
崎市長から表彰状と記念
品が贈られました。

グループ情報



【ユニットたより】から

は「やつぱり坂本九だよ
ね!」と選んだのは名曲
月をインフルエンザ等流
行期の対応策として、交
流イベントを中止してい
ます。その中、三号館G
ユニットにおいて、歌好
きな利用者様の少しでも
気分転換になればと、M
職員が自宅から簡易カラ
オケセットを持参してくれ
て、急速「ミニカラオ
ケ大会」の実施となりま
した。

【G・Sユニット(T)
（G・Sユニット）から

は「やつぱり坂本九だよ
ね!」と選んだのは名曲
月をインフルエンザ等流
行期の対応策として、交
流イベントを中止してい
ます。その中、三号館G
ユニットにおいて、歌好
きな利用者様の少しでも
気分転換になればと、M
職員が自宅から簡易カラ
オケセットを持参してくれ
て、急速「ミニカラオ
ケ大会」の実施となりま
した。



なお他の受賞者の中には、当施設の交流イベン

トで何度も来苑されてい

る笑和会様も含まれていい

ます。

は「やつぱり坂本九だよ
ね!」と選んだのは名曲
月をインフルエンザ等流
行期の対応策として、交
流イベントを中止してい
ます。その中、三号館G
ユニットにおいて、歌好
きな利用者様の少しでも
気分転換になればと、M
職員が自宅から簡易カラ
オケセットを持参してくれ
て、急速「ミニカラオ
ケ大会」の実施となりま
した。

【G・Sユニット(T)
（G・Sユニット）から

は「やつぱり坂本九だよ
ね!」と選んだのは名曲
月をインフルエンザ等流
行期の対応策として、交
流イベントを中止してい
ます。その中、三号館G
ユニットにおいて、歌好
きな利用者様の少しでも
気分転換になればと、M
職員が自宅から簡易カラ
オケセットを持参してくれ
て、急速「ミニカラオ
ケ大会」の実施となりま
した。



